日刊（除月曜） 昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 昭和26年7月13日 運輸省特別承認扱第684号 磐城日日 昭和27年（1952）12月16日（火曜日） 第708号

磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町潴廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集人發行人 長瀬芳郎

日本水素 岩本歸一郎氏の アメリカ見聞談

化学肥料工業の視察に訪米

アメリカに於ける近代化学肥料工業の施設狀態を視察のため去る十月十二日羽田出発空路訪米中であつた日本水素常務取締役照井總治氏、企劃部岩本歸一郎氏、林道子さん一行三名は五十余日にわたる全米主要肥料工業の諸施設とその狀況を視察してこの程歸國したが、十三日午後一時から小名濱工場講堂で社員並に從業員一同を前に先進化学工業國の肥料工業と五十余日のアメリカ見聞談を發表した

岩本氏の講演内容は大要次の通り

向う（米國）で先づ驚いたことは非常に自動が多くまるでベルトコンベアに自動車が乗つて街路を流れている感じだ、また或るところで眞晝中電氣を付け放しているので「なぜ消さぬか」と質問したところ「消すと電燈会社が困るから消さぬ」紙は文化のバロメーターというが日常のコップの類まで全部紙製品で、一度使用したものは捨てゝしまう、これも人權費の面から見ても能率を重んずる米國人らしい

また月賦販賣が盛んである、次は工業面であるが、思つた商品が思つた所より思つた量購入出来る、会社經営は人員が少いのが目立つこれは電話が高度に發達している原因の一つにも数えられるが、その他書類などでも吾々のように下書きして綴るような非能率がない計算なども計算機で迅速に處理する

職務の權限に対する規定も判然としている、例として部課長級でも必要に應じて社内の事務を自ら進んで處理している、どんなところは吾々日本人には到底眞似が出來ないが仕事に對する工夫が足りない、これは與えられた職務を與えられた通りにやればよいと云つた觀念から來たものであろう

小名濱供米を完遂

昨年より二十日早く

小名浜町に於る二十七年度産米の供出狀況は最初早場米供出に於て石城郡の八割を出す好調を示し十一月末には九十%を越えて一氣に完遂するかに思われたがその後、バッタリと止り足踏み狀態を續けて來たが、十五日ついに目標四千六百六十七石を完納した、昨年度から見ると廿日早いと云う好成績である

高校等の行政監査終る

縣行政監査委員小針嘉郎氏ら一行は十二日來町、縣水産試驗場を始め小名浜高校及び水産高校、小名浜漁業協同組合、全底曳漁業協同組合などの行政監査を行い、終つて底曳漁業協同組合會議室に於いて懇談会を開いた

就勞兒童の屆出は早く

來年四月小名濱町各小学校に入学する兒童に對して小名浜町教育委員会では次の事項を記入の上保護者から十二月二十七日迄委員会事務局（公民館内）に屆出るよう希んでいる、なお來年の就学兒童は昭和二十一年四月二日より同二十三年四月一日迄に生れたものであり岡小名、南富岡を除く舊玉川部落は住吉館出張所に屆出ることになる

▽區、組名▽本籍地（何番地まで）▽現住所▽入学兒童の氏名生年月日▽保護者名並に兒童との續柄▽保護者の職業

また就学適齡の兒童で病弱のため入学延期または免除を必要とするものは醫師の診斷書と印鑑を持參して申出ること、なお盲聾啞に該當するものは特にその事を申出るよう

その他不明の点は教育委員会（電話六四〇番）へ問合わせること

遠藤喜三郎氏逝く

玉川合併の大功勞者

玉川合併に偉大な足跡を殘された功勞者小名浜町住吉島五五遠藤喜三郎氏は尿毒症のため十三日午前四時三十分急逝された享年七十六才遠藤氏は明治十年一月七日玉川村の島に生れ幼にして父親に死別、母の手一つで成人したが進取の氣性に富み二十代にして福島縣巡査となり文官試驗に合格した、その後樺太廳警察官として勤務していたが、明治四十三年警部に昇進して台灣に渡り、二十年間の永きに亘つて警察行政にたづさわり警視累進澎湖島警務課長を最後に官界を退き昭和三年十月に歸鄕された

以來玉川村の重鎭として村会議員を二期町会二期を勤め、その間農業会長として鮫川疏水の磐崎分水の實現化に努力し昭和二十四年より五ヶ年繼續事業として施工明二十八年度には完成をみるととになつている、次いで小名浜、玉川の合併については四圍の狀勢は氏にとつて非常に惡るかつたが玉川百年の大計を樹てるには合併より他に方途なしと堅い決心をもつて東奔西走、合併に成功したが、またまた分村問題に逢い昭和二十二年二月出縣の途時、平市にて轉倒し脳及び背骨を打つたのが原因となりその後は健康が勝れずになすこともなく今日に至つた

氏は家庭的に圓満な人で非常にキ帖面なところがあり常に威儀を正し白足袋を常用して「白足袋御前」とまで云われた程の人格者であつた

故樋口町長の

三年忌を迎えて

自治法の改正により二万七千町民の輿望を一身に[illegible]つて初代小名浜町長に公選された故樋口速氏は大小名浜建設のために幾多事業を計画して着々実行にうつし、本町の飛躍的發展の過程にあるとき病魔のため昭和二十五年十一月二十五日逝去されてより今年は三年に当る

樋口氏は小名浜町の名門志賀家の二男として明治十八年六月三日孤々の聲を擧げ、幼小にして全町橋本樋口改氏の養子となつた、氏は生来資性温厚にして頭脳明セキ向學心深く、家業を嗣ぐや天賦の技能を遺憾なく表わし研讃努して家業の隆盛を圖る一方、青年の中堅となつて指導誘掖に努め、更に在郷軍人分会長に推されて事業の發展向上に盡瘁された、また[illegible]にあつても常に代表的役割を果たしており、子女の教養についても深い關心を払つた人とされた、然も天稟の風貌は温容雄偉にして自ら崇敬の念を起さしむるものがあり、克く人の上に立つところの天性を具えていた、大正十五年選ばれて小名浜町收入役に就任されるや財政的手腕を遺憾なく發揮し名收入役として再選又再選、鈴木榮、小野晋平、高木保氏の三代町長に仕え昭和十九年三月退職するに至るまで實に十八年間の永きに亘つて勤勉實直、滅私奉公の精神をもつて職務を遂行し、自巳の責任を全うしたその功績は蓋し後世に範とするにたるものがある

特に小野晋平氏の町長就任は積極的計画を實行に移したる結果、急激なる町勢の發展を見るに至りたるものであり、その蔭に於いて財政經理の任に當られた樋口氏の協力の賜を想起するとき感慨一しほ新らたなるものがある

越えて昭和二十一年町政刷新のため行われた町會議員の補欠選擧に出馬して見事當選の榮を獲得、町政樞機に參劃されるとになり、議会にあつても常に和衷協同の指導的立場に立たれ、その職分を守つて町當局を便撻し眞に議会人としての典型的な範を示されていた

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

町村長會で論文募集

石城地方町村長會（会長松本久吉氏）では此の程地方自治の振興に各吏員の心中にくすぶる見識を廣く知りその振興に期そうと「地方自治振興の對策」と題して論文の懸賞募集することになつた、締切りは來年一月十日で一等は一名賞金五千円、二等二名賞金三千円、三等三名賞金二千円となつている

盛況の上遠野馬市

馬のセリ市として古くより有名な上遠野村では今年も十一日より三日間上遠野村猪塚上遠野家畜市場に二六六頭の当歳馬が出場してセリ市を開いた今セリ市は三日間共に天候に惠まれ、近郷近在遠くは九州、千葉、茨城方面より買主約五十名に觀衆一千、生産者一千名が場内にあふれてゴッタ返しの大盛況であつた

初日の深山田二十七の外合計二百六十六頭がセリに出場、買主の顔には緊張の感があつたが昨年よりは約二割方安く牝の最高は上遠野村深山田蓮寳英一氏の千里が五万五千五百圓、牡の最高は渡邊村鈴木定次氏の花次が四万七千円であつた、また最底馬は九千円から一万どころで各れも現金取引師走の十二月も何んのその場内各所に一升ビンを立て赤飯を廣げてのお祭り騒ぎであつた

開業 旅館 新瀧
鯨岡益二朗
湯本温泉神社前（バス停）
電話20・33番

一目でわかる穿き心地の良い靴は……
靴専門店 菊一
◈半長靴—四、三〇〇円
◈婦人靴—一、七〇〇円ヨリ
◈男子靴—三、〇〇〇円ヨリ
平三丁目 電446

經費をかけずに良い品安く
専門店会チケット御利用下さい
冬將軍来る
冬服地ネルカセン純毛各種
ちどり綿1メ目1200円
全赤綿 1メ目 850円
カネボウ毛糸半封900円
松月印｛婦人別珍100円
｛男子石底150円
たび｛相80円豆50円
手袋——皮純毛セーム各種
マフラー130円900円
純毛スカーフ395円より
純毛婦人セーター850円
学生服外とう幼児オーバー
殿方婦人幼児ズボン各種
裏毛メリヤス大人250円
ネクタイYシャツスキー帽
婦人黒ビロード靴580円
化粧品柳屋メヌマ｝80円
ジユジユパピリオ｝
甘ナット動物ヨーチ百匁60円
カリントビスケット百匁50円
皆様の店 平マーケット
小名浜町第二小学校前 電話297番

Xマス
プレゼントは
當店が子供様へ!!
紅梅キヤラメル
サービス券20点で
クリスマスデコレーション
プレゼントします
國華堂へ
小名浜町 電461

忘年会に新年会に……
サービスの良い數奇屋造の旅館へ
（女中さん急募）
玉屋旅館
小名浜町上横町
電話三九四

良い品 安い店
毎度有がとう御座います
婚禮家具
事務用家具 製造販賣
御宮各種取揃えました
チケット御利用下さい
家具の専門
伊東家具店 電四六四番
營業所 平市新川町
工場 平市大町二九—三〇
（和洋指物工員さん數名募集）

石城郡下の「十大ニュース」

恒例により懸賞募集

〆切は十二月三十日一ぱい

郷土文化の向上を微力ながら報導と行事面で担つている本社で一九五二年を送るにあたり一般讀者のニュースに對する関心を高めるため本年中の郡内（平市を含む）十大ニュースは何かと題し廣く一般讀者から懸賞募集を行うとゝなつた平事件の公判開始ちかくは小名浜における嬰兒殺害事件等幾多のニュースの中から讀者は自分の十大ニュースと信ずるものを投票して下さい

◉用紙　官製ハガキ

◉〆切　十二月三十日

◉送先

小名浜町渚廻り

磐城日日新聞社

十大ニュース懸賞係

發表

一月四日号本紙上

賞品

一等	三千円	一名
二等	千円	二名
三等	五百円	五名
入賞	二百円	十名

（賞品は相当額品にて贈呈）

なお選衡審査員は次の十氏に委嘱交捗中

水野町長、長瀬議長、菅原教育委員長、高木公民館長、安田連P会長、志賀消防團長、鈴木警察署長、遠山保安部長、松田婦人会長、草野商工会長

入遠野村に煙草收納所

入遠野村葉煙草組合では從來收納所がなかつたため、上遠野村收納所まで約三里の道を運搬して收納していたもので時間的にも働力的にも相當の無駄があつたが、去る十月より工費九十万をもつて建坪七十坪の收納所を同村農業協同組合事務所前に建築中のところ、この程基礎工事も全く完了し本月一杯には完成の運びとなつた

壕生活者の夢實現

幡摩の作に先づ五棟

街には不景氣の聲を他そに豪壯な建築物が次から次と建てられ、國及び町当局では庶民住宅の建設に盡力して戰後の慘憺たる住宅難は除々ではあるが解決されて來た、しかしその恩惠も受けられず月收九千円に達しないため庶民の仲間に這入れず〝屋根のある家〟を渇望している人々、所謂る〝防空壕の住人〟達の救濟は事ある每に強く叫ばれて來たが、此の程その希望が達せられ、小名浜町では二十万の予算を計上して幡摩の作地内に四坪建五棟を建築してこれらの人々を收容することになつた

しかし現在小名浜町の防空壕には十七世帯五十三人が長い人では八年も苦難な生活を續けている狀態で全部の收容には程遠い有樣である、これを知つた小名浜佛教会では早急にこの人々に屋根のある家をと云う夢を實現してあげようと十七、十八の十九日の三日町内の托鉢して義損金を募ることになつた

磐城光画會で寫眞展

磐城光畫会では來る二十二十一の兩日平市四丁目マルトモホールに於いて夏井川溪谷撮影会寫眞展覽会を開催する、出品申込みは十五日までに四ツ切以上の寫眞を平市内の寫眞材料店に送付することになつている

バス乘客は激增

炭礦ストによる足異變

國鉄列車削減に伴う十一日以來小名濱臨港鐵道の上下五本の余儀なき運絡列車運休は每日二百四十名の旅客減で每日約五千円の損害を臨港に與えているが、一方是等の旅客はバスを止むなく利用しているため平小名浜間のバスは連日超滿員、歳末を控えてさなきだに混雜する輸送面に交通地獄を現出している、炭勞ストの影響で列車削減から期せずして損得の立場を生じた交通兩代表はとのように語つている、

臨港鉄道浦田社長談　收益減というより寧ろ一般旅客に迷惑をおかけすることを遺憾に思つている

常磐交通社長野崎滿藏氏談　列車削減でたしかにバスの乘客は增大しているが決して有難いことでなく早く正常の狀態に復舊して貰わないと利益だけの問題ではない

小名濱署で歳末警戒

歳末を目前に控えて犯罪の激增する季節となつたので、小名浜地區署では十二日夜全署員出動して張込みを行つたが、検挙されたものは僅か暴行一件だけであり、これも泥酔の上と判明說諭釋放された

小名浜の年末治安狀況は例年に比して非常によく二、三コソ泥がある程度で刑事連も腕を撫しているが、今後ともなお一層の警戒を嚴にして防犯に當るため一般町民も協力するよう希んでいる

天氣豫報 16

【本日】北西の風大体良い天氣ですが山沿では時々雲の廣がることもありましよう【海上】今朝頃不連續線の通過に伴つて突風の起る恐れがありますから漁船は注意を要します

魚菜市況 15

【小名浜中央青果市場】▽卵一一～一一、六▽里いも四〇～六七▽人じん二五～六〇▽ねぎ一五～四八▽へら菜五～一三▽馬鈴しよ一四〇～五〇▽丸大根五～二一▽玉菜三五～五〇▽牛蒡七六～七七▽ほうれん草六八～八〇▽白菜二二～二三▽切いも九〇【小名浜魚市場】▽さんま五八～六〇▽いわし一八五～二一五

藤原川を玉川と

復古是正せよ

③

住吉　齊藤三代治

人或は言わん　地方には自治体あり　何ぞ余りにも縁遠い事ならずやと、豈に一見自治体に関係なきに似たれども自治の本質を含味する時、これまた一些少事として葬り等閑視するには余りにも重大なる問題であることを誰も否定することは出來ないであらう

然り而して此の名跡保存史蹟地擁護が直接間接のうちに風教の維持、思想善導　町村の發展にも懸つて重要性を持つて居るものと決まつた上は一日も早く速かに藤原川の俗稱を改むるに憚かることなく「野田玉川」と是正復古し、地元村は云うまでもなく近鄕今村老若男女兒童に至るまで「玉川」と呼び、また問れはて答うるように致さなければならない

希くはかくの如く重大性を有する事なるにより、地元町をはじめ隣町村の債務として、我等の叫びに快哉呼應し、倶に俗名稱なる藤原川を止め、本「玉川」と是正稱号するよう、後代の爲及び史跡名稱保全のため、鄕土の誇りと雅名六玉川の一つを失はざらんため、鄕土住民の不明と不見識とを後世に殘さざらんため石城のみならず日本の文化を全うするために欣然として參加し奮い起たれんことを切望して止まない

備考

當時の村長縣議野崎滿藏氏、常磐線町村湯本、磐崎、泉、小名浜等に呼びかけ、其の町村會の同調を得て所願達成方を託し又地元野田の奮起を促すべく永山常治、永久保榮速氏と計り、ようやく紀念碑だけは建てた

鄕土史抜萃

野田玉川みちのくの玉川は此所にきはまりぬと名勝略記にあるが野田玉川は城南二里餘野田村にあり和歌風流者の稱する所の六玉川の一なり今既に荒蕪し細流僅かに存す、其の地形は能因法師の歌況蓋を想ぶべし。仙台南部地に同名ありし後人の模擬と水勢渦をなし玉をなすと川名之に基くと云う

一本柳　昔此の地に遊ぶもの玉の吟詠を短册に書して樂しむを例とせりと

「茂れしげれ名も玉川の玉柳」

野田の入江は野田村の東境、林城村の南面即ち古の入江なり其の形勢今尚依然たり

爲家の歌あり

せき分けて野田の入江の澤水に
とほりて通る冬の浮草

朽ちのこる野田の入江の一つ橋
心細くも身そふりにける

平政村

緒絶の橋　これは人若し此の橋を經営すれば必ず死と云う、因つて名ありしと昔は玉川の下流に架せられしも今わ水不通、魂の緒絶ゆるの意より此の名起れりと

有名品はたしかに
召上つておいしい！
お値段も廉く經済的です
今評判の（信州味噌）は
中島『正駒酒店』で販賣中です
電話三一七番へ御用命下さい
多少に不拘配達致します

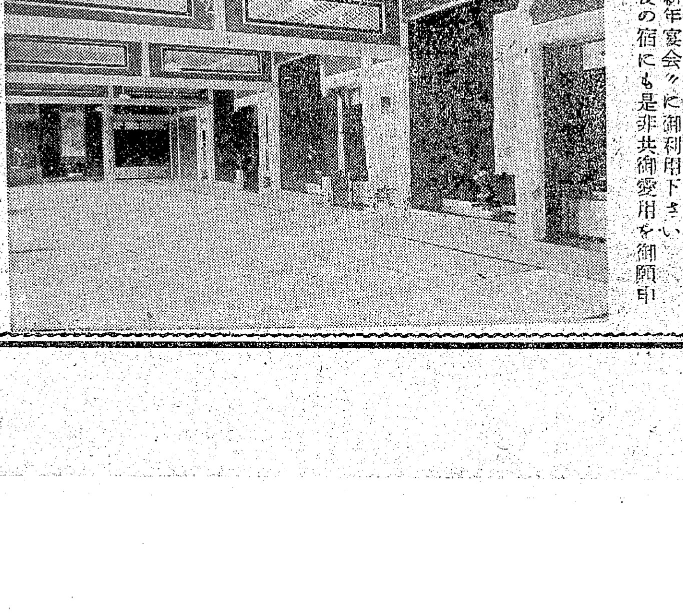
御寫眞は永久に皆樣のお姿を
後世に傳います
〃〃〃〃〃
可愛いお子樣へのプレゼント
◉◉◉　◉◉◉
七五三の御寫眞を!!
新らしい技術とサービスの店
助川寫眞館へ
電話三〇八番
本日は諏訪神社境内に
出張撮影を致します

常磐線唯一の設備を誇る
効能と環境に惠まれた温泉
加賀百萬石の昔から由諸深い、加賀の白山より湧出する湯花が天然に沈澱せる↓人造的に加工せずに用いております、ウチミ・クヂキ・慢性リウマチス・神經痛・婦人血の道・子宮病・肩のこり・胃病・腰の痛み・皮膚病・眼病などに特に効いて評判よく附近よりも多数通つております「當館は小名浜の名所である公園にあり眺めもよく毎日湯治の客で賑わつております　席料は一日分百円半日分は五十円となつております（夫婦風呂も完備）
溫泉旅館　萬里莊
小名浜公園
電話二七五番
お泊りには部屋が完備しております、電話下されば駅までハイヤーで參上いたします

御披露
皆々樣歳末さぞかし御多忙の事と存じます
乘ねて御贔負樣よりの御奬めと皆樣の御聲掛りとによりまして、此の度龍乃家の稱號により藝妓置屋を始めましたので御披露いたします
今後共行末永く御愛顧賜わりますよう何卒御願い致します
小名浜町花畑
龍乃家
川下マサ子
電話六四五番

男子事務員急募!!
若干名
高校卒以上（珠算に堪能なる者）
保証人を要す
希望者は自筆履歴書持参の上來社のこと
小名浜町定西二四　電話一九四番
磐城貨物自動車株式会社
小名濱第一營業所

可愛いお子樣のお祝に!!
七五三の御用意は
色々と取揃えて御座居ます
皆樣の衣料店
さんかんや
專門店會チケット
御利用下さい
小名濱町中島
電話四六二番

粋を凝らした大廣間!!
忘年宴会〃新年宴会〃に御利用下さい
皆樣方の一夜の宿にも是非共御愛用を御願申上げます
弊館新築の粋を凝らした別館大廣間

旅館割烹　若葉館
小名浜町隼人水素驛前
電話三五〇番
◉御座敷女中募集（若干名）

かぜの最新藥クロタスー
目藥の王　不動目藥
テラマイシン軟膏　眼科用
散粉入てつ居ります
マルキ藥房
小名浜町西町
電一一一五